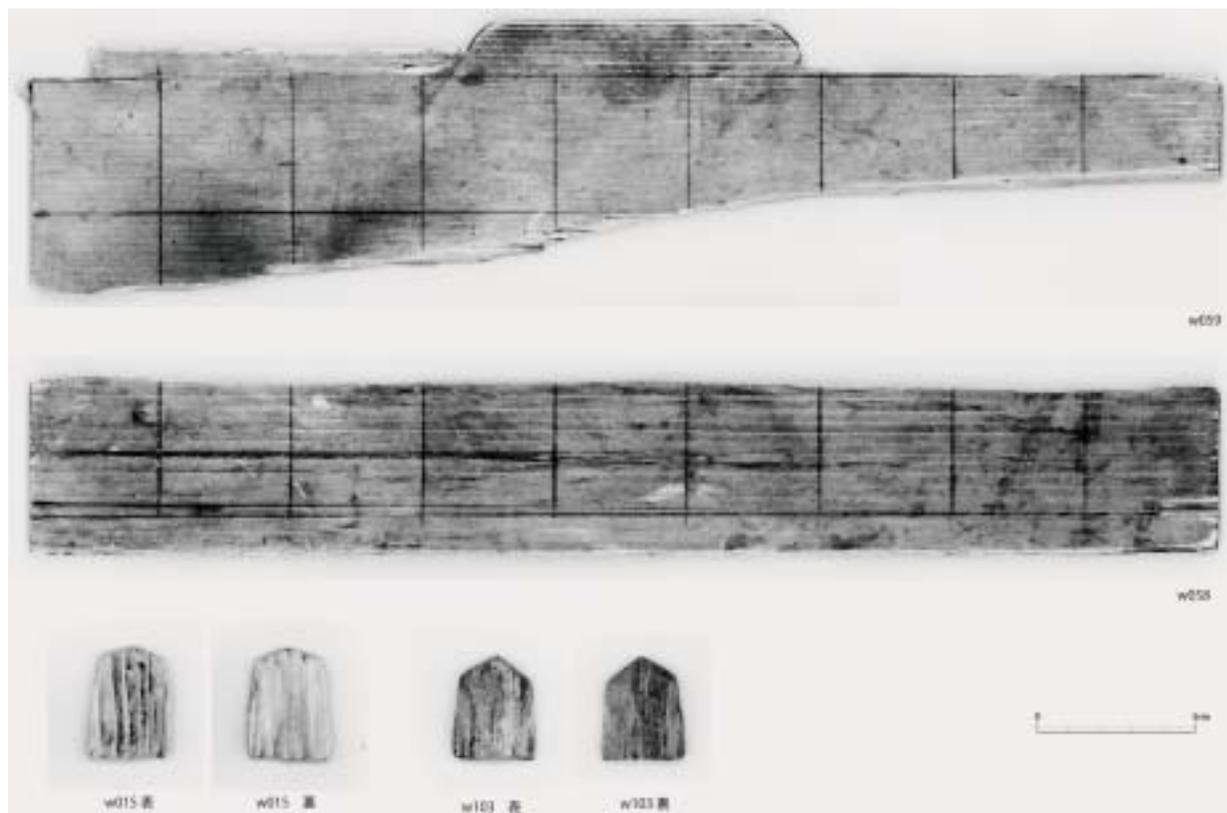


島根県教育庁
埋蔵文化財調査センター 年報 19

平成22年度

2011年3月

島根県教育委員会



1. 高浜 I 遺跡 (出雲市) 将棋盤・駒



2. 山持遺跡 (出雲市) 樂浪土器



3. 山持遺跡（出雲市） 木器未成品出土状況



4. 同上 ジョッキ形木製品

目 次

センターの概要	1
I 平成22年度の体制	2
1. 組 織	2
2. 職 員 一 覧	2
II 埋蔵文化財活用事業	4
1. 埋蔵文化財調査センター講演会	4
2. 現 地 説 明 会	4
3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』	4
4. 心に残る文化財子ども塾	5
5. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業	6
6. 第20回古代フェスタ	6
7. 平成22年度教員のための文化財活用講座	6
8. 新発見！とっとり・しまね発掘速報展	6
9. その他イベントへの参加	6
10. 埋蔵文化財調査センター見学	7
11. 職 場 体 験	7
12. 講 師 等	7
13. 資料の貸出・調査等	8
(1) 資 料 調 査	8
(2) 写 真 資 料 等	8
(3) 資 料 貸 出	9
(4) そ の 他	10
(5) 施 設 利 用	10
(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数	10
III 研修・調査指導事業	11
1. 研 究	11
2. 埋蔵文化財基礎研修	11
3. 埋蔵文化財専門研修	11
4. 調査指導	12
IV 会 議 参 加	12
V 発 掘 調 査 事 業	13
1. 一般国道9号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査	14
2. 一般国道9号直地防災工事に伴う発掘調査	15
3. 一般国道9号（浜田・三隅道路）改築工事に伴う発掘調査	16

4. 松江第五大橋道路建設に伴う発掘調査	16
5. 松江島根線道路事業に伴う発掘調査	17
6. 国道431号道路改築事業（東林木バイパス）に伴う発掘調査	18
7. 矢尾今市線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査	19
8. 県道多伎江南出雲線に伴う発掘調査	20
9. 学術調査等	21
(1) 史跡出雲国府跡	21
(2) 地域間交渉調査（墓制調査事業）	22
(3) 保存処理	23
(4) 分布調査	23
VI 県内発掘調査一覧	24
VII 刊 行 物	28
1. 年 報	28
2. ドキ土器まいぶん	28
3. 発掘調査報告書	28
4. 発掘だより	29

埋蔵文化財調査センターの概要

埋蔵文化財調査センターの設置目的

島根県には、多数の青銅器が発見され全国的に注目された荒神谷遺跡や加茂岩倉遺跡をはじめ、大型の四隅突出型墳丘墓として著名な西谷3号墓や全国で唯一ほぼ完本で伝わる『出雲国風土記』、世界文化遺産として登録された石見銀山遺跡など貴重な文化遺産が数多く存在しています。

その一方で、県内では1980年代から道路建設やダム建設などの各種開発事業が急増し、開発事業と埋蔵文化財保護との調整が課題となってきました。そこで、これらの課題に対処するとともに、県内の埋蔵文化財を調査・研究・保護し、調査成果の普及啓発を進めていくことを目的として、1992年（平成4年）に埋蔵文化財調査センターが設置されました。

埋蔵文化財調査センターの業務

- 埋蔵文化財の調査及び研究
- 出土遺物の分析（軟X線検査装置・赤外線映像撮影装置・実体顕微鏡など）
- 出土遺物の保存処理（木製品・金属製品）
- 考古資料の保存・収蔵・管理・活用
- 埋蔵文化財に関する研修（専門研修・埋蔵文化財基礎研修）
- 調査成果の普及活用（心に残る文化財子ども塾・文化財講座・講演会など）

設立年月日 平成4年4月1日

所在地 〒690-0131 島根県松江市打出町33番地 TEL：0852-36-8608 FAX：0852-36-8025

Eメールアドレス maibun@pref.shimane.lg.jp

ホームページアドレス <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>

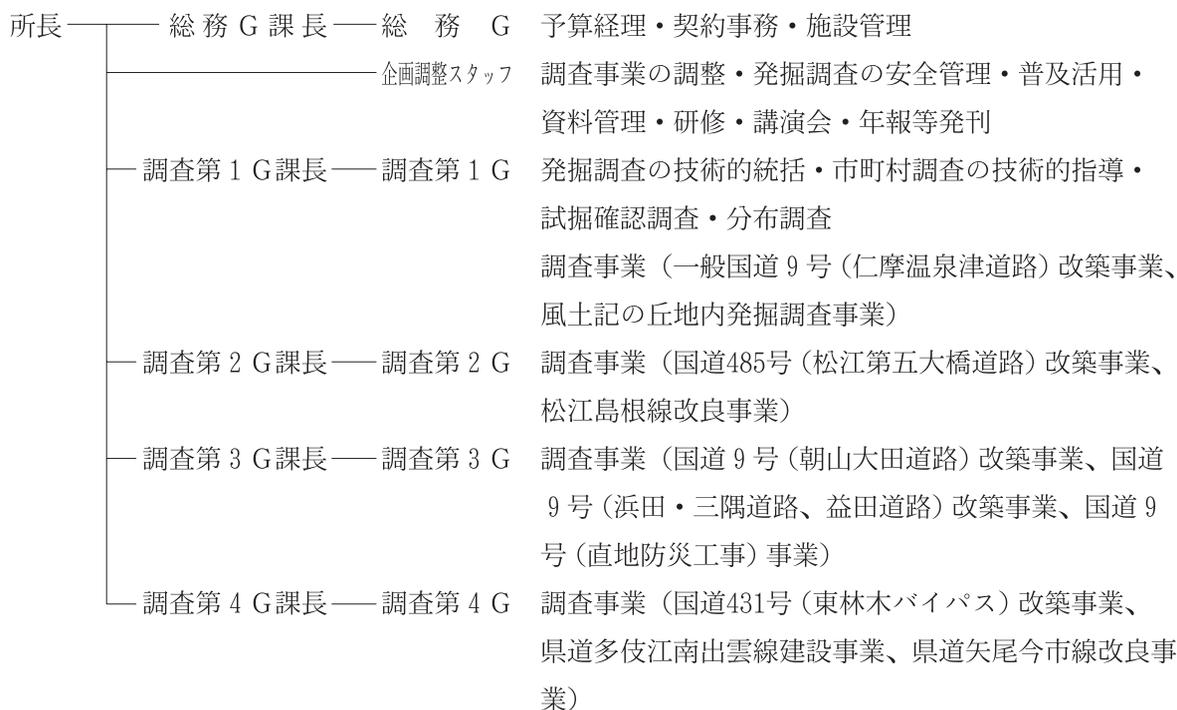
施設と規模

本館棟	展示室	175㎡	収蔵庫棟	収蔵庫	1,448㎡	
	研修室	155㎡		機材庫・車庫	172㎡	
本館棟	所長室	25㎡	いにしえ学習館棟	小計		1,620㎡
	事務室・調査研究室	315㎡		体験学習室	95㎡	
	図書室	73㎡		整理復元室	576㎡	
	資料保管室	75㎡		木器保管展示室	197㎡	
	特別収蔵室	122㎡		仮収蔵室（兼写場）	86㎡	
	写場	33㎡		収蔵庫	2,463㎡	
	整理復元室	429㎡		その他	279㎡	
	理化学分析室	35㎡		小計		3,696㎡
	鉄器処理室	35㎡		合計		7,835㎡
	木器処理室	35㎡				
	水洗室	70㎡				
その他	942㎡					
小計		2,519㎡				

I 平成22年度の調査体制

1. 組織

島根県教育庁埋蔵文化財調査センター



2. 職員一覧

職名	氏名	職名	氏名
所長	川原和人	企画調整スタッフ	
総務グループ		企画幹	萩 雅人
総務G課長	山根雅之	文化財保護主任	勝部智明
主幹	上野幸美		是田 敦
	来海弘志	調査補助員	澤田正明
	片桐浩孝		(平成22年10月まで)
囑託	濱田佐知子		柴崎晶子
事務補助員	益谷 彩	調査第1グループ	
	林 美由紀	調査第1 G課長	丹羽野 裕
	(平成22年12月まで)	企画員	宮本正保
		文化財保護主任	岩橋孝典
		主事	稲田陽介
		(兼)文化財保護主任	仙田浩志
		調査補助員	人見麻生

職 名	氏 名
調査第 2 グループ	
調査第 2 G 課長	内 田 律 雄
企画員	原 田 敏 照
文化財保護主任	伊 藤 徳 広
調査補助員	上 山 直 志
	岩 本 真 実
	大 田 晴 美
	是 田 和 美
	山 本 遙
調査第 3 グループ	
調査第 3 G 課長	鳥 谷 芳 雄
文化財保護主任	東 森 晋
	神 柱 靖 彦
(兼)文化財保護主任	清 水 裕 司
	佐々木 誠
	錦 織 幸 弘
調査補助員	糸 川 寿 幸
	渡 辺 聡

職 名	氏 名
調査第 4 グループ	
調査第 4 G 課長	今 岡 一 三
主幹	大 庭 俊 次
企画員	中 川 寧
文化財保護主任	伊 藤 智
	東 山 信 治
調査補助員	井 谷 朋 子
	田 中 玲 子
	松 山 智 弘
	岩 橋 康 子
	渡 部 桂 司
	竹 下 尚 志
	福 田 沙 織
	阿 部 賢 治
	松 崎 恵 美 子

Ⅱ 埋蔵文化財活用事業

島根県埋蔵文化財調査センターでは、埋蔵文化財の保護を円滑に行うために調査成果の公開、県民や学校教育現場などへの普及活用を行っている。

1. 埋蔵文化財調査センター講演会

題 名：「掘った！わかった！弥生時代の出雲！」

日 時：平成23年1月22日（土） 会 場：出雲弥生の森博物館（出雲市大津町）

参加者：126名

基調講演：「弥生時代の日本海交流」武末純一（福岡大学人文学部教授）

事例報告：「山持遺跡」池淵俊一（島根県教育庁文化財課）

「矢野遺跡」坂本豊治（出雲市文化財課）

「青谷上寺地遺跡」湯村 功（鳥取県立公文書館）

シンポジウム：「弥生時代の出雲と朝鮮半島の文化交流を考える」

パネラーは上記4名に加え金武重(中部考古学研究所)と川原和人、司会は内田律雄

2. 現地説明会

発掘調査の成果を地元へ公開する。（※平成22年1月4日～12月28日までに実施したもの）

遺 跡 名	開 催 日	場 所	参加者	備 考
西川津遺跡・貝先遺跡	平成22年2月28日	松江市川津公民館	約200名	遺物展示会
益田道路関係	平成22年4月9日・10日	益田市久城会館	約120名	遺物展示会
西川津遺跡	平成22年7月17日	松江市西川津町	約60名	
山持遺跡	平成22年8月22日	出雲市西林木町	約160名	
史跡出雲国府跡	平成22年9月23日	松江市大草町	約60名	
野広遺跡	平成22年10月23日	津和野町直地	約50名	
下古志遺跡	平成22年11月13日	出雲市下古志町	約100名	
合 計				約750名

3. 文化財講座『いにしえ倶楽部』

埋蔵文化財調査センターで保管している出土遺物などを活用した講座を行い、文化財をより身近に感じてもらうことを目的とした講座を開催する。

	会 場	内 容	参加者	実 施 日	備 考
第50回『親子で作ろう！古代のアクセサリー』	埋蔵文化財調査センター	古代ガラスの講義とガラス玉の制作	8名	7月28日	
第51回『納涼 黄泉の国探検』	八雲立つ風土記の丘	石室と神話の講義と石室の見学	41名	8月21日	風土記の丘と共催
第52回『古代の釣針で魚を釣ろう！』	松江市鹿島文化ホール	古代の釣法の講義と鹿角釣針の製作	6名	10月2日	

4. 心に残る文化財子ども塾

県内の小中学校の児童生徒を対象に、埋蔵文化財を活用した体験的教育活動を行う。

学 校 名	学年	人数(名)	実 施 日	体 験 活 動
出雲市立伊野小学校	6	16	5月10日	火起こし、埴輪づくり
松江市立島根小学校	6	27	5月14日	火起こし、埴輪づくり
雲南市立寺領小学校	6	14	5月18日	勾玉づくり
松江市立古江小学校	6	33	5月21日	火起こし、埴輪作り
出雲市立塩冶小学校	6	130	5月25日	大仏パネルの組立て
浜田市立周布小学校	6	62	5月25日	勾玉づくり
邑南町立石見東小学校	6	12	5月27日	勾玉づくり
大田市立井田小学校 福波小学校	5・6	18	5月31日	勾玉づくり
斐川町立出東小学校	6	42	6月2日	遺跡見学、プラ鐸づくり
安来市立荒島小学校	6	41	6月8日	遺跡見学
飯南町立来島小学校	6	17	6月9日	遺物見学、DVD視聴
雲南市立鍋山小学校	6	16	6月10日	火起こし
松江市立長江小学校	5・6	14	6月10日	火起こし、古代食
奥出雲町立阿井小学校	6	16	6月11日	土笛作り、火起こし
益田市立高津小学校	6	169	6月17日	勾玉づくり
出雲市立四絡小学校	6	99	6月25日	勾玉づくり
雲南市立西日登小学校	6	13	6月29日	火起こし、古代食
浜田市立石見小学校	6	66	6月29日	和銅開珎制作、大仏パネル
出雲市立乙立小学校	5・6	13	6月30日	土器づくり
吉賀町立七日市小学校	6	9	7月1日	勾玉づくり
津和野町立須川小学校	全	6	7月2日	勾玉づくり
邑南町立日和小学校	5	2	7月6日	勾玉づくり
出雲市立高浜小学校	6	40	7月8日	火起こし、勾玉づくり
安来市立母里小学校	6	14	7月8日	火起こし、勾玉づくり
隠岐の島町立都万中学校	全	37	7月13日	和同開珎製作
隠岐の島町立西郷小学校	6	52	7月14日	勾玉づくり、石器体験
出雲市立平田小学校	6	67	7月16日	プラ鐸づくり
吉賀町立朝倉小学校	5・6	12	9月15日	勾玉づくり
浜田市旭町内4校合同	5・6	33	9月15日	勾玉づくり
川本町立川本西小学校	5・6	14	9月17日	揺り盆体験、遺跡見学
奥出雲町立三沢小学校	5・6	14	10月7日	遺跡見学
安来市立第3中学校	1	62	10月14日	遺跡見学
合 計			32校 (1180名)	

5. 「ふるさと島根の遺物」貸出事業

埋蔵文化財調査センターが保管している土器や石器を学校等へ貸出し、地域の歴史や文化財を学ぶための教材として活用している。今年度は1校（2セット）の応募であった。

6. 第20回 古代フェスタ

「古代文化」を楽しみながら学習するために、小中学生及びその家族を対象として、古代体験やクイズで構成する文化的なイベントを開催した。

開催日：平成22年10月30日(日) 場 所：古墳の丘古曾志公園 参加者：約60名

①古代の技術にチャレンジコーナー：勾玉作り・火起こし・貝輪・鹿角アクセサリー作り、
古代衣装・竹細工

②古代クイズラリー：古墳公園を散策して古代に関するクイズに答える。

7. 平成22年度 教員のための文化財活用講座

県内の学校教員向けに、地域の文化財や郷土の歴史資料などを活用した学習活動についての研修を行い、小中学校での教育活動における、身近な地域に根ざした学習の創造に資するため開催した。

開催日：平成22年8月18日（水） 会 場：石見銀山世界遺産センター 参加者：9名

講 師：埋蔵文化財調査センター職員・古代出雲歴史博物館職員・大田市教育委員会職員

講 義：石見銀山遺跡の活用、石見銀山遺跡世界遺産センターの活用、島根県立古代出雲歴史博物館の活用事業、島根県教育庁埋蔵文化財調査センターの活用事業

視 察：石見銀山遺跡世界遺産センター、石見銀山遺跡（大久保間歩、釜屋間歩など）

協 力：大田市教育委員会

8. 『新発見！とっとりしまね発掘速報展』

山陰両県魅力向上作戦会議で行う事業のうち、文化財関連企画として平成16年度から実施している。今年度の発掘調査で発見された資料など、両県における最新の調査成果を一堂に集め、両県民に一早く公開する。当時の人々の生活へ思いをはせる場を提供することで、山陰の歴史への理解を深めるとともに、郷土への愛着・誇りを感じてもらうため開催した。

開催日：平成23年1月15日～2月13日 場 所：出雲弥生の森博物館 企画展示室

開催日：平成23年2月19日～3月13日 場 所：鳥取県立図書館 特別資料展示室

主 催：鳥取県埋蔵文化財センター・島根県教育庁埋蔵文化財調査センター

共 催：出雲市

展 示 内 容：西川津遺跡（弥生時代）、山持遺跡（弥生時代）、高浜 I 遺跡（中世）ほか

関連イベント：平成23年1月15日、2月20日 展示解説、調査成果報告会

9. その他イベントへの参加

①サンレイクフェスティバル2010に参加 平成22年10月17日(日)

会 場：島根県立青少年の家「サン・レイク」

内 容：勾玉作り、銅鐸・埴輪ペーパークラフト

②第3回湖北ふれあい感謝祭に協賛し参加 平成22年10月30日（土）

会 場：ファミリー農園広場

内 容：埴輪作り、古代衣装の着付け

10. 埋蔵文化財調査センター見学

展示室や整理作業を見学する。(※平成22年1月4日～12月28日までに申請のあったもの)

月 日	見 学 者 (団体)	時間	人数	見学	体験
2月3日	国立民族学博物館	60分	5名	○	
2月23日	花園大学考古学ゼミ	65分	14名	○	
5月25日	古代出雲歴史博物館アテンダント	60分	2名	○	
6月23日	西長江ミニデイサービス	40分	25名	○	
9月28日	くにびき学園社会文科課	120分	34名	○	
11月9日	古代出雲歴史博物館ボランティアスタッフの会	90分	40名	○	
合 計				120名	

11. 職場体験

就業体験を行うことで、生徒の労働への態度を養うとともに、自己の適性について理解を深める。

期 間	学 校 名	内 容	人数
9月15日～17日	美郷町立大和中学校	発掘調査・遺物整理(山持遺跡)	1名
9月28日～30日	松江市立湖東中学校	発掘調査・遺物整理(西川津遺跡・センター)	2名

12. 講 師 等 (※平成22年1月4日～12月28日まで申請のあったもの)

月 日	内 容	場 所	依 頼 者	講 師
2月20日	体験学習支援	松江市立古志原小学校	松江市立古志原小学校	根本登三男 中川 寧
3月22日	ヤマタノオロチと古代の出雲	チェリバホール	出雲学研究所	内田 律雄
4月10日	出雲国府の出土文字資料について	八雲立つ風土記の丘展示学習館	八雲立つ風土記の丘	平石 充
4月17日	奈良時代の出雲の須恵器	荒神谷博物館	荒神谷博物館	川原 和人
5月13日	体験学習支援	島根大学附属中学校	島根大学附属中学校	錦織 幸弘 是田 敦
7月6日	親子活動支援	松江市立内中原小学校	松江市立内中原小学校	川原 和人 仙田 浩志 是田 敦
7月8日	親子活動支援	松江市立恵曇小学校	松江市立恵曇小学校保護者代表	佐々木 誠 是田 敦
7月21日	総合的な学習見学	西川津遺跡	松江市立川津小学校	内田 律雄
8月7日	イヅモの弥生墳墓	鯖江市まなべの館	鯖江市教育委員会	中川 寧
10月2日	展示品解説	くにびきメッセ	島根県環境生活部	内田 律雄
2月19日	後谷遺跡の打製石器	荒神谷博物館	荒神谷博物館	稲田 陽介

13. 資料の貸出・調査等

(1) 資料調査（※平成22年1月4日から平成22年12月28日までに申請があったもの）

研究や展示借用のための事前調査など、資料の実見に関して応じている。

資 料	点数	申 請 者	月 日
西川津遺跡土器	2	古代出雲歴史博物館学芸員	1月7日
富田川河床遺跡陶磁器ほか	213	古代出雲歴史博物館学芸員	1月20日
原田遺跡石器ほか	256	明石市教育委員会職員	1月21日
西川津遺跡木製品ほか	3	荒神谷博物館学芸員	2月3日
荒神谷遺跡模鋳銅剣鋳型ほか	6	古代文化センター研究職員	2月3日
サルガ鼻洞窟遺跡土器ほか	30	境港市教育委員会職員	2月22日
青木遺跡製塩土器ほか	53	鳥取県埋蔵文化財センター	2月24日
青木遺跡絵馬	1	石川県立歴史博物館学芸員	3月2日
岩屋遺跡勾玉未成品	2	岡山県教育庁文化財課職員	3月5日
林原遺跡縄文土器	45	山口県立博物館学芸員	3月10日
板屋Ⅲ遺跡鉄関連遺物	227	愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター職員	3月10日
タテチョウ遺跡土器ほか	114	出雲弥生の森博物館学芸員	3月25日
山持遺跡板絵ほか	51	鳥取市歴史博物館学芸員	3月26日
尼子氏関連遺跡出土遺物	35	帝塚山大学非常勤講師	4月22日
史跡出雲国府跡漆紙文書	3	国立歴史民俗博物館職員	5月7日
中祖遺跡土器類	3,404	島根大学教授	5月10日
前立山遺跡出土鉄製鎌ほか	5	京都大学院生	5月14日
西川津遺跡骨角器ほか	55	古代出雲歴史博物館学芸員	5月19日
西川津遺跡骨角器ほか	191	八雲立つ風土記の丘学芸員	6月7日
オノ峠遺跡土器類ほか	390	國學院大學伝統文化リサーチセンター学芸員	6月17日～18日
新宮党館陶磁器	40	古代文化センター研究職員	6月8日～8月31日
塩津山1号墳土器ほか	10	大阪大学院生	8月2日
三田谷Ⅰ遺跡土器ほか	86	古代文化センター研究職員	8月2日～3日
塩津山古墳群土器ほか	33	島根大学学生	8月2日～6日
里方本郷遺跡土器ほか	37	教育庁文化財課職員	8月5日～6日
青木遺跡桃核ほか	79	天理大学学生	8月3日
山持遺跡土器ほか	30	大阪大学院生	8月18日～19日
西川津遺跡石器ほか	405	（財）北九州市芸術文化振興財団職員	8月26日～27日
庵寺古墳群土器棺ほか	22	島根大学学生	9月6日～9日
板屋Ⅲ遺跡鉄滓ほか	229	広島大学教授	9月9日
宮ノ前遺跡石器	2	広島大学院生	9月11日～12日
タテチョウ遺跡土器ほか	42	九州大学研究職員	9月14日
上塩冶横穴墓ヒスイ勾玉	1	出雲弥生の博物館学芸員	9月14日
下山遺跡土器ほか	131	古代文化センター研究職員	9月15日
柳遺跡鍛冶関連遺物ほか	88	交野市教育委員会職員	10月1日
尾崎遺跡土器ほか	8	古代出雲歴史博物館学芸員	10月18日
来美廃寺鴟尾	7	鳥取県立博物館学芸員	10月21日
飯田A遺跡瓦ほか	17	佐賀県教育委員会職員	12月6日
西川津遺跡骨角器	96	鳥取県埋蔵文化財センター職員	12月8日
原田遺跡石器	12	広島大学学生	11月8日～12日
門生黒谷Ⅱ遺跡木製品ほか	42	島根大学学生	12月7日～9日
神原Ⅰ遺跡土器ほか	1,251	古代文化センター研究職員	12月9日～15日

(2) 写真資料等（※平成22年1月4日から平成22年12月28日までに申請があったもの）

単行本や雑誌、展示図録などの写真の掲載に応じている。

資 料 名	点数	貸 出 先	使 用 目 的	貸 出 期 間
青木遺跡神像ほか	2	株式会社吉川弘文館	書籍掲載	1月12日
中原遺跡大鍛冶場全景	2	神戸川史作成協議会	書籍掲載	1月18日
加茂岩倉遺跡銅鐸ほか	14	前島己基追悼集刊行会	書籍掲載	1月18日
タテチョウ遺跡土笛	1	雅楽協議会	雑誌掲載	2月8日
家の後Ⅱ遺跡旧河道全景	1	文化庁	書籍掲載	掲載許可
尾原ダム地内遺跡土偶	1	株式会社ぎょうせい	書籍掲載	2月12日
荒神谷遺跡銅鐸ほか	3	総合地球環境学研究所	書籍掲載	2月22日
荒神谷遺跡銅鐸ほか	11	株式会社新潮社	雑誌掲載	2月22日
古志本郷遺跡土器出土状況ほか	5	神戸川史作成協議会	書籍掲載	掲載許可

資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
荒神谷遺跡銅剣ほか	2	株式会社小峰書店	書籍掲載	3月4日
荒神谷遺跡銅剣ほか	12	地域情報ネットワーク株式会社	書籍掲載	3月9日
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	株式会社アルバ	書籍掲載	掲載許可
姫原西遺跡琴板	1	出雲弥生の森博物館	常設展示	3月25日
大寺1号墳勾玉	1	出雲弥生の森博物館	図録掲載	4月27日
西川津遺跡鳥形木製品ほか	2	荒神谷博物館	特別展示	4月16日
上野1号墳鏡ほか	2	個人	論文掲載	掲載許可
堂ノ上遺跡竪穴住居跡ほか	2	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	4月26日
加茂岩倉18号銅鐸ほか	31	荒神谷博物館	特別展示	4月30日
荒神谷遺跡銅鐸ほか	2	新潟県立博物館	特別展示	4月30日～8月4日
上野1号墳勾玉ほか	14	日本放送出版協会	書籍掲載	掲載許可
荒神谷遺跡遠景ほか	76	新潟県立博物館	特別展示	5月26日～8月4日
古志本郷遺跡遺物出土状況	1	文化財写真技術研究会	書籍掲載	6月1日～7月7日
荒神谷遺跡銅剣ほか	2	株式会社育鷗社	書籍掲載	掲載許可
西川津遺跡結合式釣り針ほか	6	出雲弥生の森博物館	特別展示	6月28日
米坂古墳群瀬戸焼仏花瓶	1	東洋陶磁学会	書籍掲載	7月1日
西川津遺跡ガラス製J字形勾玉	1	日本テレビ放送網株式会社	テレビ放映	7月9日
青木遺跡方形貼石区画	1	國學院大學伝統文化リサーチセンター	企画展示	9月15日
一の谷古墳主体部ほか	2	株式会社ジャパン通信情報センター	書籍掲載	8月3日
タテチョウ遺跡陶?ほか	10	株式会社東京堂出版	書籍掲載	8月3日
加茂岩倉遺跡遠景	4	有限会社海象社	書籍掲載	8月3日
中竹矢遺跡全景ほか	3	八雲立つ風土記の丘	企画展示	8月26日
荒神谷遺跡銅剣ほか	3	河出書房新社	書籍掲載	8月16日
中野清水遺跡土器ほか	3	株式会社山陰放送	テレビ放映	掲載許可
青木遺跡1号墓ほか	2	個人	書籍掲載	掲載許可
姫原西遺跡弩形木製品	1	河出書房新社	書籍掲載	9月13日
西川津遺跡人面付き土器	1	株式会社学生社	書籍掲載	掲載許可
古志本郷遺跡土器ほか	5	古代出雲歴史博物館	特集展示	8月13日
姫原西遺跡琴板ほか	4	古代出雲歴史博物館	企画展示	8月23日
荒神谷遺跡銅鐸・銅矛出土状況	1	出雲北浜郷土誌刊行委員会	書籍掲載	掲載許可
北原本郷遺跡浅鉢	1	個人	書籍掲載	10月12日
原田遺跡土器ほか	6	砂原遺跡シンポジウム実行委員会	シンポジウム	10月19日
西川津遺跡B-1区全景ほか	2	松江市教育委員会	書籍掲載	10月12日
山持遺跡1号板絵ほか	18	鳥取市歴史博物館	展覧会	11月2日
原田遺跡竪穴住居跡ほか	5	株式会社雄山閣	書籍掲載	10月25日
前立山遺跡11号住居出土品	1	個人	論文掲載	掲載許可
下山遺跡双耳壺	1	(株)スタイルカフェドットネット	HP掲載	掲載許可
加茂岩倉遺跡発見ニュース	1	NHKアーカイブスセンター	記録映像公開	掲載許可
荒神谷遺跡銅剣出土状況	1	財団法人NHKサービスセンター	雑誌掲載	11月9日
沖手遺跡丸木舟	1	財団法人元興寺文化財研究所	HP掲載等	掲載許可
中野美保遺跡1号墓ほか	2	古代出雲歴史博物館	特集展示	11月18日
下山遺跡屈折像土偶	1	鳥取県埋蔵文化財センター	書籍掲載	11月11日
加茂岩倉遺跡銅鐸ほか	12	東大阪市教育委員会	模型作製	11月12日
青木遺跡方形貼石区画ほか	2	岡山県立博物館	交流展示	12月7日
面白谷遺跡住居跡ほか	3	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展示	12月3日
荒神谷遺跡銅矛・銅剣出土状況	1	株式会社山川出版社	書籍掲載	12月2日
板屋Ⅲ遺跡土器	2	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展示	掲載許可
板屋Ⅲ遺跡土器ほか	2	鳥取県埋蔵文化財センター	書籍掲載	12月15日
沖手遺跡丸木舟出土状況	1	益田市教育委員会	書籍掲載	12月17日
高浜Ⅰ遺跡将棋盤・駒	2	出雲ケーブルビジョン	テレビ放映	12月28日

(3) 資料貸出（※平成22年1月4日から平成22年12月28日までに申請があったもの）

所蔵する資料を有効に活用するために、外部からの依頼に応じて貸出を行っている。

資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
布田遺跡石鏃ほか	46	八雲立つ風土記の丘	企画展示	2月5日～4月9日
五反配遺跡鞘形木製品ほか	13	荒神谷博物館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
大東高校グラウンド遺跡玉類ほか	43	松江市立出雲玉作資料館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
史跡出雲国府跡漆紙文書ほか	69	八雲立つ風土記の丘	速報展示	3月19日～5月18日
今佐屋山遺跡出土砂鉄ほか	2	和鋼博物館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
団原古墳土器ほか	613	八雲立つ風土記の丘	常設展示	4月1日～平成23年3月31日

資料名	点数	貸出先	使用目的	貸出期間
原田遺跡石器ほか	1590	古代出雲歴史博物館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
板屋Ⅲ遺跡土器ほか	21	三瓶自然館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
前立山遺跡土器ほか	233	吉賀町水源館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
古志本郷遺跡土器ほか	271	出雲弥生の森博物館	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
史跡石見銀山遺跡石銀藤田地区「土壁」復原模型	1	石見銀山世界遺産センター	常設展示	4月1日～平成23年3月31日
加茂岩倉遺跡銅鐸出土状況剥ぎ取り模型	1	新潟県立博物館	特別展示	7月1日～9月30日
西川津遺跡櫛ほか	126	八雲立つ風土記の丘	常設スポット展示	4月13日～8月16日
西川津遺跡鳥形木製品ほか	3	荒神谷博物館	特別展示	7月5日～9月8日
沢下遺跡勾玉ほか	47	出雲弥生の森博物館	特別展示	7月5日～10月4日
寺ノ脇遺跡石器ほか	188	八雲立つ風土記の丘資料館	ミニ企画展示	7月8日～9月7日
西川津遺跡装身具ほか	6	古代出雲歴史博物館	常設展示	7月7日～平成23年3月31日
オノ峠遺跡土器ほか	78	國學院大學伝統文化リサーチセンター	企画展示	9月15日～12月15日
中竹矢遺跡瓦ほか	22	八雲立つ風土記の丘	企画展示	8月26日～11月26日
片良ヶ平遺跡黒曜石	60	富士常葉大学環境防災研究所	産地同定分析	9月1日～11月1日
西川津遺跡骨角器ほか	56	(株)計画設計工房	ラムサール条約登録5周年記念事業(展示会)	9月27日～10月12日
中嶺古墳子持勾玉ほか	2	松江市立出雲玉作資料館	ミニ企画展示	10月1日～11月10日
砂原遺跡土層パネルほか	4	砂原遺跡シンポジウム実行委員会	シンポジウム(展示)	10月19日～10月26日
三田谷Ⅰ遺跡土製品	1	出雲弥生の森博物館	ミニ企画展示	10月20日～平成23年1月14日
山持遺跡板絵ほか	67	鳥取市歴史博物館	展覧会	11月2日～平成23年1月17日
三田谷Ⅰ遺跡土器ほか	221	古代出雲歴史博物館	特集展示	11月18日～平成23年2月28日
四ツ廻Ⅱ遺跡甗ほか	13	八雲立つ風土記の丘	常設スポット展示	11月24日～平成23年4月22日
青木遺跡柱根ほか	9	岡山県立博物館	交流展示	12月7日～平成23年2月28日
宮ノ前遺跡石器ほか	22	松江市立鹿島歴史民俗資料館	特別展示	12月3日～平成23年3月5日

職員への貸出 61件

(4) その他

所蔵する機材や物品の貸出に応じている。

資料名(点数)	貸出先	使用目的	貸出期間
勾玉づくり用ヤスリほか(41)	安来市立荒島小学校	地域の歴史学習	4月20日～4月28日
古代衣装(9)	出雲市立大津小学校	式典衣装	4月23日～4月30日
調理体験用土器(10)	安来市立広瀬中学校	P T A行事	10月30日～11月26日
黒曜石剥片	八雲立つ風土記の丘	こども教室体験活動	11月12日～11月24日
プロジェクター	島根考古学会	例会にて使用	6月12日
赤外線カメラ一式	八雲立つ風土記の丘	風土記の丘教室	4月10日

(5) 施設利用

月 日	内 容	使 用 者
7月20日	赤外線撮影	(財)松江市教育文化振興事業団
7月29日・30日	X線撮影	松江市教育委員会・出雲市文化財課
7月31日	研修室利用	出雲古代史研究会
8月22日	研修室利用	海洋考古学会
9月21日・22日	X線撮影	出雲市文化財課
10月25日・26日	赤外線撮影	(財)松江市教育文化振興事業団
11月25日・26日	X線撮影	雲南市教育委員会・(財)松江市教育文化振興事業団・浜田市教育委員会・出雲市文化財課
2月24日・25日	X線撮影	松江城国宝推進室

(6) 埋蔵文化財調査センターホームページ閲覧数

当センターの事業内容や現地説明会、講演会、発掘だよりなどの情報を多くの人々に公開し、埋蔵文化財に対する興味と理解を高めることを目的に、ホームページを運用している。

2010年	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計
	1,160	1,290	1,225	1,333	1,241	1,211	1,622	1,337	1,307	1,383	1,206	1,473	15,788

Ⅲ 研修・調査指導事業

1. 研究

考古資料から見た地域間交渉調査・テーマ研究（古代文化センター事業）

項目	細目	担当者
基礎資料等調査・集成	武蔵国分寺瓦整理	東山信治
青銅器調査	埋納地調査、同範他調査	大庭俊次、伊藤徳広
墓制調査	廟所古墳調査、金山古墳調査	丹羽野裕、宮本正保、勝部智明、神柱靖彦、稲田陽介
生産遺跡調査	倭国一資料調査、在地陶磁器集成	丹羽野裕、東森 晋、東山信治
テーマ研究	木製品から見る古代の暮らし	中川 寧
テーマ研究	縄文時代における山陰地域社会の展開	是田 敦

2. 埋蔵文化財基礎研修

埋蔵文化財調査未経験者または初心者を対象とした基礎的な研修。

今年度は応募がなかったため、開催しなかった。

3. 埋蔵文化財専門研修

埋蔵文化財担当者全般を対象とした専門的な研修

第1回 平成22年7月23日

「津和野城下町遺跡」中井将胤（津和野町教育委員会）

「沖手遺跡」大野芳典（益田市教育委員会）

「道休畑遺跡」柳浦俊一（島根県古代文化センター）

「久城東遺跡・久城西Ⅰ遺跡ほか」（島根県埋蔵文化財調査センター）

第2回 平成22年9月15日

「発掘調査の方法」水ノ江和同（文化庁文化財部記念物課）

第3回 平成22年11月26日

「古代青銅器研究」劉治国（島根県古代文化センター）

「石見神楽の伝播と現状-山口県阿武郡の場合」石山祥子（島根県古代文化センター）

「縄文時代の遺跡からいかに集団領域をさぐるか」（島根県古代文化センター）

第4回 平成23年3月23日

「出雲市山持遺跡の調査成果」 東山信治（島根県埋蔵文化財調査センター）

「出雲市下古志遺跡の調査成果」 大庭俊次（島根県埋蔵文化財調査センター）

「江津市土床坂の調査成果」 梅木茂雄（江津市教育委員会）

「下市築地ノ峯東通第2遺跡の調査成果」 坂本嘉和（鳥取県埋蔵文化財センター）

4. 調査指導（※平成22年1月4日～12月28日までに実施したもの）

月 日	依 頼 者	遺跡名など	内 容	派遣者
1月26日	飯南町教育委員会	五明田遺跡	出土遺物指導	柳浦 俊一
2月8日	浜田市教育委員会	御便殿	御便殿の活用方法	川原 和人
2月12日 ～13日	津和野町教育委員会	大陰遺跡	報告書作成指導	柳浦 俊一
3月2日	荒神谷博物館	銅鐸絵画資料	銅鐸絵画資料指導	内田 律雄
3月9日	雲南市教育委員会	郡垣遺跡	旧大原郡家等範囲確認 調査委員会	平石 充
4月15日	松江市教育委員会	松江城下町遺跡	保存処理の事前調査	勝部 智明 澤田 正明
7月21日	鳥取県埋蔵文化財センター	下市築地ノ峯第2遺跡	現地指導	丹羽野 裕
8月6日	安来市教育委員会	カジズタ古墳	現地指導	岩崎 康子
10月12日	益田市教育委員会	羽場遺跡・中小路遺跡	出土遺物指導	丹羽野 裕
10月8日	鳥取県埋蔵文化財センター	下市築地ノ峯第2遺跡	現地指導	丹羽野 裕
11月12日	広島県教育事業団	只野原3号遺跡	現地指導	丹羽野 裕 伊藤 徳広

IV 会 議 参 加

当センターが加盟している全国公立埋蔵文化財センター連絡協議会の総会、中国・四国・九州ブロック会議及び研修会に参加した。

- (1) 総会 平成22年5月27日～28日 山口県山口市 セントコア山口
- (2) 中国・四国・九州ブロック会議 平成22年9月30日 岡山県津山市 津山男女共同参画センター
- (3) 平成22年10月7日～8日 宮城県多賀城市 ホテルキャッスルプラザ多賀城

V 発掘調査事業

受託事業

平成22年度は8事業8遺跡の本発掘調査を行った。事業の内訳は、国直轄事業の一般国道9号（朝山・大田道路）改築事業、一般国道9号直地防災工事事業、県事業の一般国道421号（東林木バイパス）改築事業、県道矢尾今市線改良事業など、いずれも道路建設に伴うものである。

調査成果としては、出雲市に所在する山持遺跡（一般国道432号（東林木バイパス）改築事業）や下古志遺跡（県道多伎江南出雲線建設事業）で、弥生時代後期ころの細長い溝状の掘り込みを持つ布堀建物跡が見つかった。このうち山持遺跡では、1間×2間の建物跡に径30cmほどの柱根が6本残存しており、柱下には沈下を防止するために木材が置かれていた。また、出雲市の高浜I遺跡（県道矢尾今市線改良事業）では、中世の大規模な建物跡や土坑等を検出し、廃棄土坑から漆器椀や建具材などともに15世紀中葉から16世紀初頭ころの将棋盤が出土した。将棋盤は現在確認されているものとしては日本最古の出土例である。

石見部の調査では、津和野町に所在する野広遺跡（一般国道9号直地防災工事事業）で15世紀ころの掘立柱建物が18棟発見され、出土品には国内産の陶磁器のほか、中国製の白磁や青磁なども含まれていた。遺跡の近辺には中世の荘園に由来すると考えられる字名が残っており、本遺跡との関連性が注目される。

なお、当センターではこのほかに、松江市、出雲市、大田市において、道路事業及び治水事業に伴う試掘確認調査を5箇所を実施した。

学術調査

松江市の史跡出雲国府跡（風土記の丘地内遺跡調査）及び廟所古墳（地域間交渉調査（墓制調査））で調査を実施した。史跡出雲国府跡では、奈良時代の遺構面で整地などの基盤整備を行った痕跡を確認した。また、廟所古墳の調査では葺石や「蓋形埴輪」の可能性のある形象埴輪を検出した。

分布調査

一般国道9号（出雲・湖陵道路）改築事業、一般国道9号（静間・仁摩道路）改築事業及び中国横断道尾道松江線建設事業予定地の分布調査を実施した。



1. 一般国道9号（朝山大田道路）改築工事に伴う発掘調査

事業概要 この調査は国土交通省より委託を受けて実施したものである。初年度に当たり、中尾H遺跡を対象として行った。遺跡の所在は大田市久手町刺鹿であり、字名は市井である。



中尾H遺跡

本遺跡は島根県大田市の北東部に位置し、日本海側の旧羽根湖に向かって流れ出る江谷川の支流によって形成される小谷部に所在する。標高は18mほどであり、当地から日本海までの直線距離は最短で1.9km、旧羽根湖からは1.8kmほどを測る。当地は古くからのルートで、羽根方面から大田市街地に抜ける最短距離の市道が通る。

調査は現在の水田区画をもとに、便宜上、東側から1区、2区、3区と呼んで実施した。現地調査期間は平成22年5月31日～12月17日、調査面積は4,230㎡、調査体制は調査員2名と調査補助員1名である。

1区、2区ともに多くの遺物が出土した。いずれも包含層からの出土である。遺物の種類は土器類、土製品類、石器類、木製品類、植物遺存体などである。土器類が示す年代は、縄文、弥生、古墳、奈良、平安、室町、江戸時代とかなりの幅がある。出土量は縄文土器が最も多く、これに続くのが奈良平安時代の土師器片・須恵器片である。縄文土器は後期の磨消縄文・縁帯文土器片であり、粗製土器も多い。同じ時代のもつとみられる石器類も多く出土した。若干ではあるが、前期、中期の土器もあった。木製品で注目されるものに木簡1点があり、現存長125mm、幅22mmで、表面に「二斗一升 □(葛か) 裏面に「石□」とある。遺構は杭列を数条認めただけで過ぎなかった。

まとめ 今回の発掘調査は、遺構には恵まれなかったものの、縄文時代から江戸時代に至るまでの数多くの遺物が出土した。とりわけ今から4000年ほど前の縄文時代後期の土器・石器がまとまって出土したことは、これまでこの時代に関する情報が極めて限られていた当地域にとって、貴重な考古資料が提供されたものと思われる。(鳥谷芳雄)



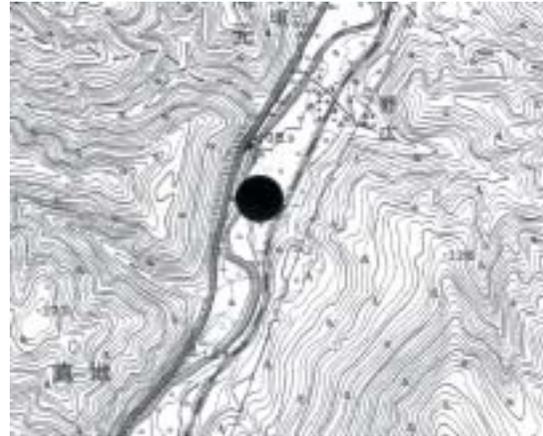
1区完掘状況



縄文土器出土状況

2. 一般国道9号直地防災工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省浜田河川工事事務所より委託を受けて昨年度より実施しており、今年度の調査で予定していたこの事業にかかわる発掘調査は終了した。



野広遺跡位置図（1/25,000津和野）

野広遺跡

本遺跡は津和野町直地に位置する高津川に沿った河岸段丘上に位置している。現地調査期間は平成22年6月7日～11月8日、調査面積は合計3,850㎡で、調査員2名、調査補助員1名の体制で発掘調査を実施した。調査対象地のうち、南端部を1区、北端部を2区、その間の調査区を3区とした。

1区では、3棟の掘立柱建物跡や中世から近世にかけての集石遺構2基を検出している。このうち掘立柱建物跡は、周辺から出土している遺物から中世頃の遺構だと考えられる。集石遺構1には五輪塔の一部が転用して使用されていた。また集石遺構2の下で平面円形状の土坑が検出されたため、この遺構は墓の可能性が考えられる。

2区では、遺構は確認できず、遺物の出土もわずかであった。

3区では、15世紀から16世紀頃の掘立柱建物跡を15棟検出した。調査区内からは中世から近世にかけての土器などが出土しており、輸入磁器等の遺物も出土している。

まとめ 中世には吉見氏が三本松城に拠点を置き、野広遺跡周辺もその版図に納めていたとされる。しかし、このことを具体的に示す資料は確認されておらず、近隣での遺跡の発掘調査も実施例がなかった。今回の調査は、周辺地域の歴史を考えるうえで貴重な成果を加えることとなった。

（神柱靖彦）



1区全景



3区建物跡群

3. 一般国道9号(浜田・三隅道路)改築工事に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、国土交通省浜田河川工事事務所より委託を受けて昨年度より実施しており、今年度の調査で予定していたこの事業にかかわる発掘調査は終了した。



調査地位置図 (1/25,000 浜田)

山陰道推定地カモト地区

本遺跡は、浜田市三隅町東平原の尾根に挟まれた谷間に位置している。現地調査期間は平成22年11月15日～12月20日、調査面積は合計125㎡で、調査員2名、調査補助員1名の体制で発掘調査を実施した。

調査の結果現在の里道の下から、崩落した路面の一部を2面検出した。近隣の街道跡の発掘調査で検出した石組みや側溝、石敷きなどは検出されなかった。路面上の埋土などから近世から近代にかけての陶器片2点、土錘1点を検出し、近世の陶器片を1点表採した。

まとめ 今回の調査では、これまでの近世の山陰道の調査で見られた路面を保護するための諸施設は確認できなかった。このことは、近世の山陰道が地形の制約によってそのありかたに大きな差異を有していた事を示していると考えられる。(神柱靖彦)

4. 松江第五大橋道路建設に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、島根県土木部から委託を受けて平成17年度から実施している。今年度は、藤廻遺跡(松江市上東川津町)の発掘調査を行った。調査期間は4月19日から6月4日で、調査員1名、調査補助員2名の体制で発掘調査を行った。調査面積は270㎡である。

藤廻遺跡

本遺跡は松江市上東川津町にあり、和久羅山と嵩山を望む丘陵に位置する。調査前の地形測量で直径5mほどの高まりが確認されており、古墳の存在を想定して調査を行った。

発掘調査の結果、直径約5mの円形の盛土状遺構が確認された。盛土状遺構は旧表土層の上に堆積しており、人為的に盛られたものと判断される。主体部等の遺構は確認できなかった。出土遺物は、盛土内から須恵器の高坏片が出土している。残念ながら、盛土状遺構の年代は明らかにできなかった。(伊藤徳広)



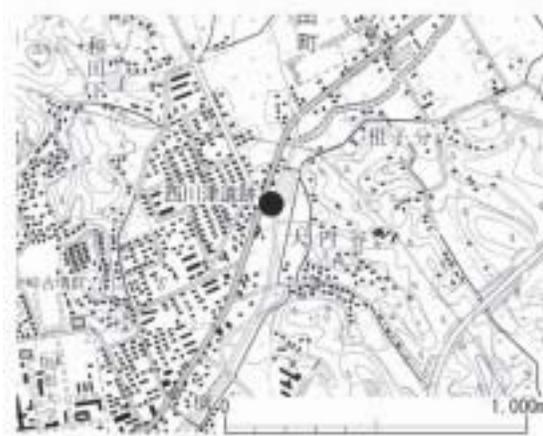
松江市 藤廻遺跡の位置
(1/25,000 松江)



盛土状遺構

5. 松江島根線道路事業に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、県道路建設課より依頼を受けて実施しており、平成19年度より開始して以来3年目となる。今年度は松江市西川津町地内の西川津遺跡（鶴場地区：B-1区）について、調査員1名、調査補助員2名の体制で調査を実施した。



西川津遺跡（鶴場地区：B-1区）

遺跡は朝酌川流域に広がる縄文時代～近世までの大規模なもので、これまでに河川改修によって数次にわたる調査が行われ、大量の出土遺物と共に重要な発見が得られている。本年度は朝酌川の西側の水田部分について平成22年6月1日～平成22年12月22日まで実施した。調査面積は500㎡である。

遺構の概要 現地表下0.5mの標高2m付近で幅2m・深さ1m程の大形の溝を3条、柱穴200基程を検出している。大形の溝はいずれも弥生時代前期のものであり、昨年度のA-1区の調査で発見された大形の溝と対応するものがある。柱穴からは遺物の出土が少なく時期が分かるものが少ないが、弥生時代後期のものと推測される。これらの弥生時代の遺構が存在する微高地の東側は中世頃の河道によって削られ失われており、中世～近世の河道であったことが判明した。

遺物の概要 弥生時代前期の溝の埋土からは大量の土器や石器のほかに、S D13とS X01の二つの溝からは炭化米が集中して出土している。炭化米は粒が揃った状態で出土しているものもあり、稲穂状態で炭化したものと考えられる。またS D15からは窓枠状木製品が出土している。そのほかには、中・近世の河道跡から卒塔婆等の木製品や縄文時代から近世までの様々な遺物が出土している。

まとめ 今回の調査成果は、昨年度検出された大形の溝がさらに東側に連続することが確認されたことである。昨年からの調査によって、西川津遺跡の弥生時代集落の中心部が調査区の北側に存在していた可能性が高まった。

また、弥生時代遺構が存在する微高地の東側は中世以降の河道によって削られていることが明らかとなった。（原田敏照）



弥生時代の溝（S D13・S X01）と柱穴群



窓枠状木製品（S D15）

6. 国道431号道路改築事業(東林木バイパス)に伴う発掘調査

調査概要 この調査は県土木部から依頼を受けて平成12年度から実施している。今年度は山持遺跡の6区⑥と7区⑥の2か所を調査対象とした。6区⑥は5月24日から1月24日まで、調査面積は2,060㎡、7区⑥は6月3日から11月24日、調査面積は、1,600㎡で、それぞれ調査員1名、調査補助員2名の体制で調査を実施した。



山持遺跡位置図 (1/50,000 今市)

山持遺跡

本遺跡は出雲市里方町・西林木町・日下町に所在する水田部分に広がっており、今回の調査区である6区⑥は伊努谷川の東側、7区⑥は鍛冶屋谷川の西側に位置している。

調査区の基本層序は、上から近世以降の水田層－中世の腐植土層（オモカス層）－黒色系粘質土層－灰色系シルト層となっており、6区⑥では灰色系シルト層の下層から縄文時代～弥生時代後期中葉の遺物を含む粗砂層を確認している。

6区⑥では、灰色系シルト層の上面で弥生時代後期末頃のものと思われる建物跡5棟や、溝、土坑、土器溜まりなどの遺構を検出した。

建物跡のうち3棟は布掘建物であり、このうちの1棟（S B01）は柱間が梁行1間×桁行2間（2.5m×5.2m）のもので、6本の柱根が残っていた。柱は、直径が約30cmと太く、柱の下には柱の沈下を防ぐための礎盤を伴っていた。礎盤は、柱の下に入れられた抉りに横木をはめ込み、さらにその下に枕木状の木材を敷いたものである。

弥生時代後期末頃の溝から、泥除や鍬、杓子の未製品が1か所でまとまって出土しており、ここで木器の未製品を水漬けにして保管していたものと推測される。

遺物は、黒色系粘質土中や遺構埋土中から弥生時代後期末頃を中心とする時期の土器や、木製品が数多く出土している。

土器には、在地で一般的に見られる器種のほか、北部九州系のものや三韓土器などの搬入品や、水銀朱精製土器のような特殊な用途のものも存在する。

木製品は、前述した木器未製品のほかに、ジョッキ形容器や腰掛け、櫓、建築部材などが出土している。

7区⑥では、オモカス層からシルト系堆積層上面にかけて遺構面を3面確認した。第1遺構面は、オモカス層を掘削後、畦畔状の遺構を確認した。南北方向及び東西方向に2本検出し、このうち南北方向の畦畔は幅2～3mの規模である。この畦畔に伴い、11世紀の土師質土器の坏が出土している。第2遺構面では調査区南側部分を中心に、土坑、溝、ピット、杭を確認した。第3遺構面は、シルト系堆積層上面であり、溝、土器溜まり、ピット、杭の他、昨年度調査区（7区⑤）からの続きの部分である古墳時代中期の落ち込みを確認した。オモカス層下面からシルト系堆積層上面では、古墳時代中期の遺物を中心に、弥生時代中期から平安時代にかけての遺物が出土している。特筆すべき遺物としては底部裏面に「林」と墨書してある8世紀後半の須恵器皿、鉄製摘鎌が伴った状態で出土した木製穂摘具などがあげられる。またシルト系堆積層の下では、東から西に流れる流路を

検出した。自然流路からは、弥生時代中期から後期にかけての土器が出土している。

ま と め これまでの山持遺跡の発掘調査では弥生時代の建物跡はほとんど発見されていなかったが、今回、後期末頃の建物跡が複数検出され、当該期の集落のひろがりや構造を考えるための手がかりが得られた。また、建物跡は、遺存状態は良好であり、当時の建物構造や建築技術について知る上で貴重な資料となる。

出土遺物の中には、北部九州系の土器や三韓土器など、非在地的なものも存在しており、当時の地域間交流を示すものとして注目される。
(伊藤 智・東山信治)



6区⑥ S B01



6区⑥ S B01の柱根・礎盤

7. 矢尾今市線建設事業に伴う埋蔵文化財発掘調査

調査概要 この調査は県土木部から委託を受けて実施したもので、今年度は2年目となる。調査対象遺跡は高浜I遺跡で4月22日から6月2日まで調査員1名、調査補助員2名の体制で調査を行った。調査面積は約500㎡である。



高浜I遺跡位置図

高浜I遺跡

高浜I遺跡は出雲市高岡町に所在し、市道高浜141号線と広域農道の接するT字路から北へ約20mの地点に位置する宅地跡が今回の調査区である。表土下約40cmで遺構面に至り、大規模な建物跡や土坑等が集中して検出された。このうち廃棄土坑から漆器椀や建具を構成している格子状木製品、木筒などと共に将棋盤が出土した。また、他の柱穴から文字の判読はできなかったが、将棋の駒2点も出土している。



廃棄土坑遺物出土状況

将棋盤は破損しているため全体の1/4程度しか残存していないが、現状では長さ約38cm、幅5～8.8cm、厚さ1cmの2枚の板材となっている。表面には約4.2cm四方の大きさのマス目が現在の将棋盤と同じ9マス施されている。年代については共伴する木簡に「永正三年(1506年)」の記載があることとAMS年代測定の結果から、15世紀中頃～16世紀初頭と推測される。
(今岡一三)

8. 県道多伎江南出雲線に伴う発掘調査

調査概要 この調査は、県土木部道路建設課より委託を受けて実施した。下古志遺跡は出雲市下古志町に所在する。調査は現在の県道に面した地区を「1区」、その南側を「2区」と呼称した。現地調査期間は平成22年5月21日～平成23年1月21日、調査面積は1区約1,400㎡、2区約2,200㎡で、調査員2名、調査補助員4名の体制で実施した。



下古志遺跡位置図（1/25,000）

下古志遺跡

1区の調査 1区の調査では、弥生時代中期の墓坑1基、弥生時代後期後半～終末期にかけての掘立柱建物8棟、布掘建物2棟、井戸4基、溝3本以上、土器埋納土坑1基が検出された。このほかに鎌倉時代の井戸8基以上、土坑墓1基、土器埋納土坑1基、16世紀後半と思われる角形組合式木棺墓などの遺構が検出された。

2区の調査 2区の調査では掘立柱建物5棟、溝12本、ピットや土坑を検出した。溝は弥生時代・古墳時代のものが8本、中世のもの2本、時期不明のもの2本である。弥生時代・古墳前期の溝のうち最大のSD20は、上面の幅約5m、深さ約1.3mである。弥生時代後期初頭（V-1）に掘削され、古墳時代前期初頭（草田6期）まで数度の掘り直しを行いながら溝として機能していたことがわかった。中世の溝はほぼ90度の角度で位置しており掘立柱建物を区画するための溝と考えられる。ピットや土坑では、柱根が残ったものや古銭が出土したものがある。

まとめ 1区の調査では、弥生時代後期～終末期にかけての布掘建物と井戸、あるいは掘立柱建物と井戸の組合せが確認された。これらの井戸の中には、土層断面と削り抜き木材の遺存状態から、深さ2m以上の円筒形の井戸枠を供えている例があることがわかった。1区で検出された溝SD41は、最大幅2.5m、最大深さ75cm、調査区内で確認された長さは40mを測り、断面逆台形であった。調査区内では湾曲も屈曲もしておらず直線的に伸びており、特徴的である。この溝は最初に深く掘られているが、最終的に廃棄される時期の掘り返しは浅く、弥生時代後期～終末期の土器や炭化物が多く溜まっていた。この溝の両側には同時期の建物が存在しており、性格は不明と言わざるを得ない。

また、2区の溝SD20は遺跡の南側を区画するためのものと考えられる。既往の調査結果から想定すると、下古志遺跡の弥生時代集落は約200～300mの範囲であり、集落の南側を複数の溝で囲っていたことがわかった。

（大庭俊次・中川 寧）



1区 布掘建物、掘立柱建物と溝



2区 遠景写真

9. 学術調査等

(1) 史跡出雲国府跡

調査概要 国庫補助事業として平成11年度から実施している。12年目となる今年度は、史跡公園として整備されている宮の後地区の北側未調査区及び昨年度の調査未終了区を対象とした。

現地調査は、6月1日から開始し10月5日に終了した。調査面積は約300㎡で、調査員1名、調査補助員1名の体制で実施した。



史跡出雲国府跡の位置 (S=1/25,000 松江)

遺構の概要 出雲国府跡に関する遺構面は整地土上面と下面の2面である。整地土上面の遺構は、溝跡1条、炭溜まり1基、柱穴14基を検出した。溝跡は、昨年度以前に確認された70号溝の続きと思われる、溝の底面部分がわずかに残存していた。炭溜まりは調査区南端に検出された。1.4×1.0mの範囲に多量の炭が溜まっており、周辺からは鉄滓が出土している。柱穴は概して小規模で径20～30cm程度のものが多い。配置は不規則で建物の復元はできなかった。整地土下層の遺構は、井桁状遺構、性格不明遺構 (S X 02～04)、土坑4基 (S K 02～05) がある。井桁状遺構は、幅30cm程度の溝が網目状に交差した遺構で、平成19年度の調査と併せて、その範囲が、南北24m東西20m以上に及ぶことが分かった。S X 02は長方形の大型土坑で南北約5m、東西約15mである。S X 02の下部からは、S X 04が検出された。一部しか調査していないため規模や性格は不明である。S X 03は南北10m、東西3mの不整形の遺構である。埋土に多量の炭や須恵器、土師器が混じっており、廃棄場のような性格と推測される。

遺物の概要 出土遺物は、須恵器・土師器・瓦が大半である。特筆すべき遺物として、方頭大刀や筋砥石、内面に黒漆が付着した土師器甕、「丹」もしくは「内」と書かれた墨書土器などがある。

まとめ 本年度調査では、建物跡など国司館復元の具体的な資料は得られなかった。しかし、国司館の一面に大規模な整地作業を必要とする施設が存在すること、国司館の成立前後に漆・鉄・玉など様々な手工業生産が行なわれていたことなどが分かった。今後、こうした遺構・遺物の時間的前後関係を整理し、国司館の成立や展開を検討していく必要があるだろう。(稲田陽介)



井桁状遺構



S X 02

(2) 地域間交渉調査（墓制調査事業）

調査概要 この調査は、島根県古代文化センターと島根県埋蔵文化財調査センターが共同で実施している基礎研究「考古資料から見た地域間交渉調査」のうち、墓制調査の一環として実施したものである。

調査の対象とした廟所古墳は、平成10年度に詳細測量調査を実施している。発掘調査は平成19年度から継続的に実施し、今年度が3年目である。



松江市 廟所古墳の位置（1/25,000）

廟所古墳

廟所古墳は松江市西尾町に所在し、宍道湖から中海へ流れる大橋川北岸の丘陵上に位置する。現地調査は10月13日から11月18日まで、埋蔵文化財調査センターの職員を中心に、古代文化センター職員の協力を得て実施した。調査面積は約90㎡である。

遺構の概要 今回の調査では、墳丘規模の確定を目的として、墳丘の北斜面・南斜面・西側・南東側にトレンチを計5カ所設定した。

墳丘北斜面・南斜面のトレンチでは、墳丘の盛土及び地山面を検出した。また、北斜面トレンチでは、表土直下で葺石状の石列を確認した。平成20年度調査では墳丘東斜面のトレンチで葺石が存在することが報告されており、これと同様なものと考えられる。

墳丘西側のトレンチでは、葺石と見られる石列を確認した。墳丘西側は畑となっており、地形改変を受けているが、葺石の西端部が残存していた。葺石は標高約26mで検出された。西辺の方位が真北からわずかに東に振れており、墳丘の軸方向と合致する。

遺物の概要 各トレンチから埴輪・須恵器が出土しているが、量的にはわずかである。埴輪はいずれも小片だが、円筒埴輪のほか蓋形埴輪を確認している。須恵器は坏、甕などが認められる。

まとめ 今回の調査では、墳丘が盛土によって築成されたことが明らかになった。また、明確な墳端は確認できなかったが、墳丘西側における葺石の検出等により、廟所古墳は少なくとも一辺約50mの大形方墳である可能性が高くなった。遺物は、量的には少ないが蓋など形象埴輪が出土しており、対岸に位置する石屋古墳などの出土埴輪との比較検討から、廟所古墳の時期を推定する有効な資料となると考えられる。

（宮本正保）



墳丘西側トレンチ 葺石



墳丘西側トレンチ 土層

(3) 保存処理

遺跡から発掘された遺物の多くが、木製品は水浸けパック、金属製品が酸化防止システムでのパックという状態で「仮保管」されている。「仮保管」では遺物の劣化が進みやすく、展示などの活用が制限されてしまうため、これらの問題を解消するために年間を通して継続的に作業を進めている。水浸け木製品は、遺物の状態によってポリエチレングリコール（PEG）と糖アルコールでの保存処理を使い分けている。自然乾燥してしまった木製品はアクリル樹脂を塗布、又は含浸することで強化し遺物の形状を維持する。金属製品はクリーニング、脱塩、アクリル樹脂の減圧含浸による防錆・強化を行っている。処理後の遺物は温湿度管理下で保管している。上記以外の材質の遺物も、脆弱なものに対して随時、処置を施す。

赤外線観察・X線撮影に関しては、センターの調査現場、報告書作成、保存処理での活用の他に、市町村教育委員会を対象に撮影日を設けている。

平成22年度 作業実績

「とっとり・しまね発掘速報展」にむけて、高浜Ⅰ遺跡出土の将棋盤、駒、漆器などの木製品に糖アルコールを含浸した。その他、古代出雲歴史博物館の展示計画にあわせて、都合山鉾跡などの製鉄関連金属遺物、大田市川向遺跡の木製品の保存処理を行っている。

また、古代文化センター設置の蛍光X線分析装置を借用して、堂ノ上遺跡出土赤色顔料付着資料、山持遺跡出土赤色顔料付着資料の分析を行なった。

そのほかに、石見銀山清水谷製錬所跡から出土した銀精錬関係遺物、國學院大學伝統文化リサーチセンターより分析依頼を受けた美保神社所蔵玉作関係遺物と黒曜石の蛍光X線分析を行なった。

（澤田正明・柴崎晶子）

(4) 分布調査

平成23年2月～3月にかけて、大田市石見銀山課・出雲市文化財課の協力を得て分布調査を実施した。今年度対象としたのは、一般国道9号静間仁摩道路の全線、同出雲湖陵道路の出雲市知井宮町部分である。

また、平成22年10月～11月に、出雲湖陵道路建設予定地内に所在する常楽寺柿ノ木田1号墳の墳丘測量及び試掘確認調査を行った。平成22年11月～12月には朝山大田道路予定地内に所在する中尾友ノ迫遺跡・市井深田遺跡・門遺跡についても、試掘確認調査を実施した。 （宮本正保）

VI 県内発掘調査一覧

市町村など（※平成21年12月29日～平成22年12月28日に通知のあったもの）

番号	対 象 遺 跡			発 掘 届 出 書			調査の目的 ・契機等
	種 別	名 称	所 在 地	発 掘 担 当 者	発掘面積(m ²)	発掘予定 期 間	
1	その他の遺跡	松江城下町遺跡(殿町344番地外)	松江市殿町344、343	松江市教育委員会 廣濱貴子	63	220215- 220331	道路(城山 北公園線)
2	城館跡	松江城	松江市殿町1-5外	松江市教育委員会 徳永 隆	60.5	220225- 220331	遺跡整備
3	集落跡	石見銀山遺跡	大田市大森町イ177番1	大田市教育委員会 長嶺康典	7	220308- 220331	その他の建物(駐在所)
4	集落跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町鷲原口1-3他	津和野町教育委員会 中井将胤	6	220310- 220330	保存目的の 範囲内容確 認調査
5	その他の遺跡	松江城下町遺跡(殿町344番地外)、(殿町343-2番地)	松江市殿町344、343、 343-2	松江市教育委員会 柚原恒平	218	220402- 220730	道路(城山 北公園線)
6	集落跡	野塚遺跡	松江市八束町江島字 野塚133	松江市教育委員会 中尾秀信	60	220412- 220428	その他の建物 (携帯電話基 地局設置)
7	集落跡	上講武大石遺跡	松江市鹿島町上講武396、538-2、538-3、539-2、539-3、540-2、543-2、2396-3、2396-5	松江市教育委員会 廣濱貴子	670	220412- 220730	道路(市道 大石清水線)
8	集落跡	中須東原遺跡	益田市中須町106、93、94、113、103、104、105、114、139、95-2、107-1、108、96、96-1、97、98、121、124、125、131、137、122、119、120	益田市教育委員会 長澤和幸	870	220428- 220730	保存目的の 範囲内容確 認調査
9	その他の墓	亀井家墓所	鹿足郡津和野町後田字御塔イ396番1	津和野町教育委員会 中井将胤	15	220426- 220530	保存目的の 範囲内容確 認調査
10	散布地 集落跡	キコロジ遺跡	松江市朝酌町901	松江市教育委員会 江川幸子	664	220510- 220827	その他農業 関係
11	社寺跡	宮本鍛冶山内遺跡	出雲市多伎町奥田儀419番地	出雲市 石原 聡	41	220517- 221229	保存目的の 範囲内容確 認調査
12	集落跡	鵜灘山遺跡	松江市鹿島町名分747-1	松江市教育委員会 赤澤秀則	48.67	220531- 220604	その他開発 (防火水槽設置)
13	その他の遺跡	松江城下町遺跡(南田町80-11外)	松江市南田町80-11外	松江市教育委員会 川上昭一	9	220603- 220615	道路(城山 北公園線)
14	散布地	寺床I遺跡	簸川郡斐川町大字学頭字畑谷4397番地4	斐川町教育委員会 宍道年弘	61	220621- 220720	その他開発 (通信用無線 基地局)
15	古墳	中村1号墳	出雲市国富町1948番地	出雲市 坂本豊治	20	220614- 220930	保存目的の 範囲内容確 認調査
16	生産遺跡	室原山2号製鉄遺跡	邑智郡邑南町日和3254番地15	邑南町教育委員会 角矢永嗣	600	220710- 221031	農業基盤整備 事業(農林業 用道路工事)

番号	対象遺跡			発掘届出書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(㎡)	発掘予定期間	
17	その他の遺跡	松江城下町遺跡(南田町80-11他)	松江市南田町80-11、80-12	松江市教育委員会 石川 崇	63	220707-220730	道路(城山北公園線)
18	その他の遺跡	津和野城下町遺跡	鹿足郡津和野町鷲原口333-1	津和野町教育委員会 中井将胤	2	220623-220630	個人住宅
19	散布地	郡垣遺跡	雲南市大東町仁和寺1604-7外	雲南市教育委員会 坂本諭司	200	220712-22年12月末日	保存目的の範囲内容確認調査
20	その他の遺跡	琴引山神社境内地	飯石郡飯南町佐見1134-2	國學院大學 内川隆志	50	220830-220908	学術研究(学術発掘調査)
21	社寺跡	出雲大社境内遺跡	出雲市大社町杵築東195	出雲市 曾田辰雄	900	22年6月下旬-230331	その他開発(防火施設整備)
22	城館跡	益田氏城館跡	益田市三宅町口1216-1、口1225、口1226、口1229、口1232、口1325	益田市教育委員会 松本美樹	288	220816-221130	保存目的の範囲内容確認調査
23	集落跡	佐太前遺跡	松江市鹿島町佐陀宮内字下藏持89番1のうちの一部	松江市教育委員会 徳永 隆	28	220803-220806	集合住宅
24	その他の遺跡	松江城下町遺跡(南田町134-11外)	松江市南田町134-11、134-13	松江市教育委員会 柚原恒平	345	220809-230125	道路(城山北公園線)
25	集落跡	西後遺跡	松江市西谷町780-3、780-7、780-9、781-1、782-2、782-4、783-1、784-1	松江市教育委員会 廣濱貴子	314	220812-220930	道路(市道古志大野線)
26	生産遺跡	石見銀山遺跡	大田市大森町イ1625、イ1625-1、イ1629(安原谷地区)、イ1627、イ1628(本谷地区)	大田市教育委員会 中田健一	595	220524-230331	保存目的の範囲内容確認調査
27	生産遺跡	石見銀山遺跡	大田市大森町イ1617、1619、1627-1、ホ407、408、408-1、409、410、411(石銀地区)	大田市教育委員会 中田健一	200	220901-230331	保存目的の範囲内容確認調査
28	生産遺跡	石見銀山遺跡	大田市大森町二261、二270、ホ366-1、ホ391(昆布山谷地区)	大田市教育委員会 中田健一	400	220726-230331	保存目的の範囲内容確認調査
29	古墳	カジズタ古墳	安来市広瀬町菅原2041番2	安来市教育委員会 舟木 聡	400	220517-220730	農業基盤整備事業(農道)
30	生産遺跡	出雲玉作跡宮垣地区	松江市玉湯町玉造85番地8外	松江市教育委員会 徳永 隆	3	220818-220820	保存目的の範囲内容確認調査
31	集落跡	河成遺跡	益田市横田町2538番地ほか	益田市教育委員会 山本浩之	360	220823-22年10月	店舗
32	社寺跡	出雲国分寺跡	松江市竹矢町字寺領93、94-2、97-1	松江市教育委員会 江川幸子	200	220915-221130	遺跡整備
33	集落跡	米塚遺跡	松江市西谷町813-4、813-5、813-6	松江市教育委員会 廣濱貴子	112	220915-221029	道路(市道古志大野線)

番号	対象遺跡			発掘届出書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
34	社寺跡	鱈淵寺	出雲市別所町148番地	出雲市 石原 聡	120	220901-221031	保存目的の範囲内容確認調査
35	集落跡	中須東原遺跡	出雲市中須町113、103、104、105、114、135、134-2、128、119、120、129-3、130-2、115、118、121、124、126、138-1、138-2、127-1、127-2、133、137、117、101、102	益田市教育委員会 長澤和幸	6,200	220906-230331	土地区画整理
36	散布地	石屋遺跡	松江市東津田町1888番1、1888番12、1888番14、2169番1、2169番3、1876番1、1876番7、1888番13	松江市教育委員会 石川 崇	112.5	221001-221020	店舗
37	生産遺跡	出雲玉作跡宮垣地区	松江市玉湯町玉造85番地8外	松江市教育委員会 徳永 隆	4.75~7.75	220921-220930	保存目的の範囲内容確認調査
38	生産遺跡	出雲玉作跡宮ノ上地区	松江市玉湯町玉造495、495-1、495-2、495-3、495-4、495-5、503-1、504-1、504-2、504-4、505、506-2、506-10、523、523-2、524	松江市教育委員会 赤澤秀則	46	220922-221008	保存目的の範囲内容確認調査
39	社寺跡	隠岐国分寺周辺遺跡	隠岐郡隠岐の島町池田風呂前5	隠岐の島町教育委員会 野津哲志	68	221018-221105	保存目的の範囲内容確認調査
40	集落跡 その他の遺跡	山崎遺跡	益田市匹見町澄川イ824-2番地(字:山崎)外	益田市教育委員会 山本浩之	4,000	221101-23年8月	道路(国道488号長沢バイパス)
41	城館跡	松江城	松江市殿町1-5外	松江市教育委員会 徳永 隆	3.25	221028-230331	遺跡整備
42	散布地	本郷上口遺跡	安来市広瀬町下山佐1188番1	安来市教育委員会 大塚 充	59	221110-221220	その他開発(基地局建設)
43	その他の墓	堀尾忠氏墓	安来市広瀬町富田31、2038	安来市教育委員会 舟木 聡	200	221122-230131	保存目的の範囲内容確認調査
44	散布地	道添遺跡 ウツキノエ遺跡	鹿足郡吉賀町蔵木113番地6、113番地2、123番地1、130番地1、133番地、113番地5、136番地、141番地1、146番地1、154番地、156番地、114番地1、148番地	吉賀町教育委員会 三浦一美	52	221118-221231	農業基盤整備事業
45	その他の遺跡	松江城下町遺跡(奥谷町105番1外)	松江市奥谷町105番1外	松江市教育委員会 徳永 隆	101.5	221206-221228	宅地造成
46	生産遺跡	出雲玉作跡宮ノ上地区	松江市玉湯町玉造495、495-1、495-2、495-3、495-4、495-5、503-1、504-1、504-2、504-4、505、506-2、506-10、523、523-2、524	松江市教育委員会 赤澤秀則	2	221214-221214	保存目的の範囲内容確認調査

県（※平成21年12月29日～平成22年12月28日に通知のあったもの）

番号	対象遺跡			発掘届出書			調査の目的・契機等
	種別	名称	所在地	発掘担当者	発掘面積(m ²)	発掘予定期間	
1	城館跡	一ノ谷遺跡	松江市上東川津町新谷他	伊藤徳広	80	220112-220129	道路（松江第五大橋）
2	古墳	蟻越古墳群	松江市上東川津町字蟻越	内田律雄	100	220105-220129	道路（松江第五大橋）
3	古墳	藤廻遺跡	松江市上東川津町字岡屋敷1330外	伊藤徳広	270	220419-220604	道路（松江第五大橋）
4	集落跡	高浜Ⅰ遺跡	出雲市高岡町661外	今岡一三	500	220422-220531	道路（矢尾今市線）
5	散布地 集落跡	野広遺跡	鹿足郡津和野町直地字屋敷1049-4番地外	神柱靖彦	4,500	220601-221031	道路（一般国道9号直地防災工事）
6	集落跡	下古志遺跡	出雲市下古志町908ほか	大庭俊次	4,000	220520-221224	道路（県道多伎江南出雲線）
7	集落跡	山持遺跡	出雲市西林木町891-3外	東山信治	5,900	220517-221224	道路（国道431号東林木バイパス）
8	集落跡	西川津遺跡	松江市西川津町字鶴場628-1	原田敏照	500	220531-230114	道路（主要地方道松江島根線）
9	官衙跡	出雲国府跡	松江市大草町509-1外	宮本正保	315	220601-221015	保存目的の範囲内容確認調査
10	散布地	中尾日遺跡	大田市久手町刺鹿23-2-3ほか	鳥谷芳雄	5,000	220602-221217	道路（一般国道9号朝山大田道路）
11	横穴墓	上塩冶横穴墓群第31支群・同第32支群	出雲市上塩冶町420外	岩橋孝典	150	220802-220831	学校建設
12	古墳	廟所古墳	松江市西尾町1041外	宮本正保	70	221012-221110	学術研究（考古資料から見た地域間交渉調査（墓制調査））
13	古墳	柿ノ木田1号墳	出雲市湖陵町常楽寺940-1、944	岩橋孝典	30	221021-221105	保存目的の範囲内容確認調査
14	その他の遺跡	山陰道カモト地区	浜田市折居町地内	神柱靖彦	75	221115-221227	道路（一般国道9号浜田三隅道路）
15	古墳	中尾友ノ迫遺跡	大田市久手町刺鹿中尾友ノ迫1411-2他	岩橋孝典	50	221117-221126	道路（大田朝山道路）
16	散布地	門遺跡	大田市久手町刺鹿門1495-3他	岩橋孝典	50	221129-221210	道路（大田朝山道路）

VII 刊 行 物

1. 埋蔵文化財調査センター年報18

平成22年3月刊行。発行部数650部

2. ドキ土器まいぶん（島根県の埋蔵文化財情報誌）

名 称	発 刊 月	部 数	内 容
ドキ土器まいぶん No.50	平成22年8月	6,000	特集：古代出雲の玉作、 発掘調査ガイド：西川津遺跡・山持遺跡・古志遺跡・野広遺跡
ドキ土器まいぶん No.51	平成22年12月	6,000	特殊：新発見！とっとりしまね発掘速報展、 発掘調査ガイド：中須東原遺跡・郡垣遺跡

3. 発掘調査報告書

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺 跡 の 概 要
史跡出雲国府跡 7 －附編 山代郷南新造院跡－	287	宮本正保	史跡出雲国府跡の発掘調査。国司館の一角と推定される地点を調査し、溝跡・井戸跡などを検出した。「延暦3年」と記された漆紙文書も出土。あわせて収録した山代郷南新造院跡の調査では、15～16世紀代の遺構・遺物を検出。
一般国道9号仁摩温泉津道路建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書4 湯里天神遺跡・牧原Ⅱ遺跡・宇福遺跡	255	岩橋孝典	湯里天神遺跡では15世紀の畑関連遺構が検出され、石垣、牛の足跡、犁溝、畝列などが確認された。牧原Ⅱ遺跡では、12～13世紀の製鉄に伴う排滓場を調査した。調査区内からは約55トンの鉄滓・炉壁片が出土している。
主要地方道松江島根線改築工事に伴う埋蔵文化財調査報告書1 苧捨古墳・西川津遺跡	267	内田律雄	苧捨古墳は三基の主体部を持つ、径20mの不整形な前期古墳で、中央の第1主体部から、前漢鏡の破鏡、振紋鏡、勾玉、管玉、ガラス小玉が出土した。西川津遺跡では、アカホヤ火山灰層、弥生前期の貝層、古墳時代中期の河道跡を検出し、銅鐸片や骨トが出土した。
国道485号道路改築事業（松江第五大橋道路）建設に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書Ⅱ 山辺遺跡・鞍切遺跡・米坂古墳群・貝先遺跡ほか	264	伊藤徳広	鑄造関連遺物が多数出土した山辺遺跡や、古墳の周構から埴輪が出土した鞍切遺跡、基壇を伴う中世墓と蔵骨器として利用されていた古瀬戸の仏花瓶が出土した米坂古墳群など第五大橋道路改築に係る発掘調査で行った10数遺跡の発掘調査報告書である。
一般国道9号（浜田・三隅道路）建設予定地内埋蔵文化財発掘調査報告書2 近世山陰道推定地（力石地区・荒磯谷地区・原地区・カモト地区）・片良ヶ平遺跡・馬ノ太郎遺跡・北ヶ迫遺跡	260	東森 晋	浜田市西部の4地区で実施した、近世山陰道推定地の発掘調査では砂利敷や側溝、石垣等を検出した。その他に、縄文時代早期の遺物散布地である片良ヶ平遺跡、土塁や平坦面を検出した馬ノ太郎遺跡、近世以降の炭窯跡を調査した北ヶ迫遺跡を収録。

報 告 書 名	部数	編集担当者	遺 跡 の 概 要
一般国道9号（益田道路）建設 予定地内埋蔵文化財発掘調査報 告書7 堂ノ上遺跡	255	東森 晋	弥生時代後期の集落遺跡の発掘調査。竪穴住居跡11軒、掘立柱建物跡6棟などを検出した。弥生時代終末期の住居跡から周防系の土器がまとまって出土。
国道431号道路改築事業（東林 木バイパス）に伴う埋蔵文化財 発掘調査報告書9 山持遺跡Vol.7 6区⑦	246	今岡一三	山持遺跡は弥生時代の大規模な集落跡で、弥生時代後期後半の土器群と溝状遺構等を検出した。また、その下層の砂礫層からは弥生時代後期前半の楽浪土器が出土していることが注目される。
一般国道矢尾今市線地方道路交 付金事業（大塚工区）に伴う埋 蔵文化財発掘調査報告書2 高浜I遺跡	248	今岡一三	高浜I遺跡では中世の有力者の居館と考えられる建物跡や多数の土坑が検出された。このうち廃棄土坑から漆器椀や木簡と共に最古となる将棋盤が出土していることが特筆される。
国道431号道路改築事業（川津 バイパス）に伴う埋蔵文化財発 掘調査報告書IX 金クソ谷遺跡4区・一の谷古墳	253	伊藤 智	丘陵緩斜面からピット、土坑や7世紀から9世紀にかけての須恵器が確認された金クソ谷遺跡4区及び5世紀中葉の一辺約20mの不整形な古墳である一の谷古墳を所収する発掘調査報告書である。

4. 発掘調査だより（各調査事務所発行）

名 称	事 業 名	発 行 月	部数	配 布 先
意宇の森	風土記の丘地内 発掘調査	5月、11月	944	地元自治会
ほるるーと9	朝山大田道路	6月、8月、11月	401	地元小中学校・地元高校・ 公民館・教育委員会など
石見路の言伝 （津和野版）	直地防災工事	5月、9月、11月	765	地元小中学校・自治会・ 公民館・教育委員会など
石見路の言伝 （浜田版）	浜田・三隅道路	12月	468	地元小中学校・自治会・ 公民館・教育委員会など

島根県教育庁

埋蔵文化財調査センター年報19

発行日 2011年3月31日
編集・発行 島根県教育庁埋蔵文化財調査センター
松江市打出町33番地
Tel. 0852-36-8608

ホームページ <http://www.pref.shimane.lg.jp/maizobunkazai/>
Eメール maibun@pref.shimane.lg.jp

印刷 (有) 松本印刷

本文はR100再生紙を利用しています。